

第1学年SS課題研究I 課題研究メソッド③「社会問題から課題研究のテーマを探る」

教員用 授業の流れ

1 授業実施場所

1年生 各教室（授業担当者2名で実施）

2 生徒の持ち物

課題研究メソッド，スクラップノート，ワークシート（事前配付，予習あり）

3 教員の準備するもの

生徒用ワークシート

【課題研究委員会】で準備

SSH事前アンケート，SSHレディネス調査

【SS事業部】で準備

生徒用ワークシートを用いた教員の提示事例

【担当教員】で準備

*参考例を提示してもよい。

4 授業展開例

	時間	学習内容・発問例	教員の指導・留意点
導入	15:20	目的の提示 「1年生では，課題研究のテーマを設定することが大きな目標です。 <u>前々回の授業</u> では，“紙の不思議”を通じて，身近な自然現象から課題を発見する方法を学術的な観点から学びました。 <u>今回</u> は，実際の社会で起こっている問題から課題研究のテーマを発掘する方法について学びます。 <u>前回</u> の授業では，職場訪問の事前学習として，職業についてのディスカッションと発表を行いましたね。“職業”とは，社会に山積する問題を分担して解決するための“役割”でもあります。現実の社会には，課題研究のテーマとなる題材がいたるところに埋もれています。」	○これまでの授業とのつながりを強調し，本時の位置付けと「SS課題研究I」が目指す到達点との関係を示す。
展開1	15:23	SSH事前アンケート，及びレディネス調査の実施 「今日はまず， <u>現実社会で起こっている問題や注目されているキーワード</u> について，あなたたちがどれくらい興味・関心をもっているか，知識として知っているかを確認する <u>アンケート調査</u> を行います。現時点での状態を確認するものであり，評価ではありません。正直に教えてください。」	○アンケート用紙（調査用紙）を2枚配付。 落ち着いた状態で回答させる。 評価ではないことを強調。
展開2	15:40	ディスカッション① 「社会で起こっている問題や課題研究で取り上げるならばどのようなアプローチが考えられるかについて， <u>予習してきた材料をもとに近くの友達どうして話し合ってみましょう。</u> 」	○ワークシート（予習済み）とスクラップブックを準備させる。前後（左右）の二人組でそれぞれ話し合いをさせる。 ○机間巡視。後で発表させてもよいと思われる事例を拾っておく。

	時間	学習内容・発問例	教員の指導・留意点
展 開 2	15:48	ディスカッション② 「みなさんいろいろな課題に注目し、それに対して面白そうな課題研究の方法が考えられることが聞こえてきました。では、 <u>ペアを変えてもう一度話し合いをしてみましょう。</u> 」	○先ほどとペアが変わるように左右（前後）の二人組でそれぞれ話し合いをさせる。 ○机間巡視。後で発表させてもよいと思われる事例を拾っておく。
	15:56	発表活動 「社会の課題に対する話し合いと課題研究のつながりについて、活発な話し合いができましたね。クラス全体で紹介してもよいかなどという事例はありませんか。みなさんが考えた面白そうなネタについて、 <u>クラスで情報をシェアしましょう。</u> 」	○自薦、他薦を問わず、自発的に発表が行われるとよい。難しいようであれば、机間巡視した際に拾い上げた事例を教員が指名して発表させる。教員が考えた事例を紹介してもよい。
ま と め	16:05	本時のふり返りと次回の予告 「世界には数多くの課題があり、その課題を解決するために、さまざまなアプローチが考えられることがわかりましたね。 <u>高校生のアイデアがきっかけで、課題が解決された事例もあります。</u> 」 「社会の課題に目を向けて、アンテナを高くしておくことは大切です。 <u>スクラップブック</u> などを利用して、課題研究のテーマになるかもしれない <u>ネタを常にストックしておく</u> とよいでしょう。」 「今日は、最近話題になっている“キーワード”について、アンケート調査も行いました。次回は、新聞記事やあなたが日頃関心を寄せているキーワードに注目し、自分の興味・関心に対する気付きを深める活動、 <u>“キーワードマッピング”</u> を行います。前回学んだ世界の不思議や、今回学んだ社会の問題などから課題研究のテーマが見つけれられるといいですね。」 「課題研究のテーマは「考えろ」と言われてその場ですぐに思いつくものではありません。 <u>身のまわりの不思議、社会で起こっている問題に、日頃から意識を高くしていれば、</u> 自ずとテーマは見つけられるはずです。世界は「不思議」と「課題」に満ち溢れていますから。」	☞ 例として、課題研究メソッド P.15 の「積雪時に有効な LED 信号の開発」などを紹介 ○スクラップブックの活用を促す。 ○次回の予告、「キーワードマッピング」を強調。 ○課題研究のテーマを発見するには、日頃の意識が大切であることを強調。